

平成31年度 東村山市立東村山第三中学校 学校評価報告書

学校教育目標

すなおに学び ひたむきに鍛え こころ豊かな 三中生

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 生徒が主体的に創造する、地域に根差した活力ある学校
- 【目指す児童・生徒像】 自らを認め、他に対する思いやりの心を持ち、友と学校を愛する生徒
- 【目指す教師像】 常に向上心を持ち、温かな指導が出来るプロ意識の高い教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

- 成果 ①教職員の組織的な対応 ②学校行事への生徒の主体的な取り組み
課題 ①適正な教育課程の実施 ②人材の育成

	具体的方策	第1回評価		課題と対策	第2回評価		課題と次年度以降の対策
		努力目標	成果目標		努力目標	成果目標	
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTにより、若手教員にベテラン、中堅教員の授業を参観させる。 ・定期的な週案簿の点検により、授業改善に向け、指導助言をする。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■定期テストの作成や適正な評価の実施について、特に3年次までの教員を中心に、各教科ごとにOJTにより、ベテラン教員から若手教員にマンツーマンで指導している。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■若手教員に指導する担当教員を明確にし、OJTを推進するとともに、若手教員の授業力向上を目指す。 ■管理職と研究主任が連携を密に図り、校内研修を充実させる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後学習を実施し基礎学力不足の生徒を中心に学習意欲向上に努める。 ・毎日の朝読書を実施する。 	3.9	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ■毎日の朝読書を実施することで、読解力向上と落ち着いた姿勢での授業への導入が図れている。文部科学省の学力調査や、東京都の学力の向上を図るための調査では、昨年度と同様に数学で平均点を上回る好結果となり、習熟度別少人数指導の成果が見られた。 	3.9	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ■ICTサポーターと連携し、パソコン室の学習コンテンツの活用を通して、生徒の主体的な学習を促す。 ■学生ボランティア等の人材活用を積極的に行い、生徒の学習機会をさらに増やし、学力向上を目指す。
健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生活アンケートを実施する。 ・「いのちこころの教育」を継続し、自他を大切にする教育を推進する。 ・人権プログラムを有効活用する。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■学校全体ですべての生徒を見守る意識を教職員が共有することにより「いじめ」「不登校生徒」の早期発見と早期解決に努めた。 ■組織的な対応力を向上させ、基本的な生活習慣と生活規律の定着を図る指導を進めた結果、落ちついた学校が維持できている。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■教師の日常の見守りや生活アンケートを通して、いじめ等を早期に発見し、課題解決を組織的に行う。 ■スクールカウンセラーと連携し、生徒一人一人の課題等にきめ細やかに対応していく。
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳の評価について夏季休業中に評価例を作成し、情報交換を行う。 ・地域、外部の人材を招聘し道徳教育についての研修会を実施する。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ■夏季休業日明けに外部の講師を招き、道徳の評価についての講演をしていただく。道徳教育を一層充実させ、生徒の健全育成につなげる。道徳授業地区公開講座の中で学校関係者・地域の方のご意見をいただく。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ■生徒間のSNS上でのトラブルが課題となっている。保護者と連携し、見守りを強化する。 ■関係機関と連携し、SNS使用上のモラルの育成を図る。
健康・体力づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員による生活習慣アンケートの実施や生徒会朝礼で発表させ、啓発を図る。 ・保護者と面談を実施する。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■後期の活動として保健委員による生活習慣アンケートの実施を計画している。アンケートの集計結果をまとめ、保健日より等で発表した。また、熱中症予防の声かけを保健委員会が全校朝礼で行った。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■学校での生活環境を施設面でもう一度見直し、生徒一人一人が生活しやすい環境を整える。 ■生活習慣アンケートを活用し、課題解決に向けての取組を積極的に行う。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会を活用して、生活習慣についての調査・集計を行い、家庭の啓発とともに家庭と協働による基本的な生活習慣の確立を図る。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■毎月、月の初めに保健日よりを作成し、家庭での健康に関する指導の参考としてもらう。 ■養護教諭による色覚検査を実施した。 	3.9	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■保健委員の主体的な活動を増加させ、さらなる充実を図る。 ■保健だよりのさらなる充実を図る。
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回ホームページを更新し、新しい情報発信をする。 ・保護者会出席率をアップするために保護者会の工夫をする。 	4	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■ICTサポーターを活用し、月2回ホームページを更新している。新しい情報を発信し、家庭への情報提供の充実を図る。 ■年度当初の保護者会では資料の充実を図ることにより、保護者会の出席率アップを目指した。 	4	3.9	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者へのメール配信の環境を整備し、さらなる充実を図る。 ■緊急時の保護者への連絡体制を整える。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災安全マップの作成や防災講話の実施、地域防災訓練への参加呼びかけ、救急救命講習等の実施を検討、教育課程に位置付ける。 	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ■生徒会では、「我が町東村山の未来に向けて」をテーマに発表の準備を進めている。アンケート等を通じて、生徒が今のようなことに興味を持ち未来に向かってどの方向に歩んでいるのか、発表した。 	3.8	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ■避難所運営連絡会と生徒の避難訓練を合同で行う機会を設け、地域とのつながりをさらに強固なものにしていく。 ■市の防災安全課や消防署と連携して避難訓練を実施する。
特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を毎日全学年で実施する。 ・図書委員会でブックトークや読み聞かせを企画し、読書に対する興味関心を向上させる。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ■朝読書を毎日全学年で実施することにより、授業に臨む落ち着いた雰囲気や読書が醸成することができている。 ■読書に対する興味・関心の向上を目指し、図書委員会でポップを作成するなどして、読書に対する興味関心を向上させた。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者との連携を継続し、図書室の環境をさらに充実させていく。 ■学校図書館司書の指導場面を増やし、読書活動の活性化を図る。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア担当職員を指名しボランティア募集要項を掲載する。 ・ボランティア参加状況を学年だよりやホームページに掲載する。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア担当職員が地域のボランティア活動に関する情報を集約し、募集にあたった。その結果、青少年が主催する地域の町民運動会や長寿を祝う会など多くの地域行事に生徒がボランティアとして積極的に参加した。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ■ボランティア担当職員を中心にボランティア活動の周知徹底を図る。 ■管理職を中心に青少年担当者と連携を密に図り、地域行事に協力する。